

# 第 10 回 夢・未来熊谷ジュニア議会 会議録



平成 27 年 11 月 14 日開催

熊谷市・熊谷市教育委員会・熊谷市議会



# 目次

1. 第10回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要	1
2. 議事日程	3
3. 出席議員(32名)	4
4. 一般質問	5
質問番号1 市長公室関係	5
➤ 議席番号30 妻沼西中学校 與川 和紗 議員	
質問番号2 総合政策部関係	7
➤ 議席番号3 富士見中学校 佐藤 駿 議員	
➤ 議席番号9 玉井中学校 今井 歩 議員	
➤ 議席番号25 大里中学校 長嶋 一輝 議員	
質問番号3 総合政策部関係	10
➤ 議席番号1 荒川中学校 浅井 圭三郎 議員	
➤ 議席番号5 大原中学校 小林 優太 議員	
➤ 議席番号11 大麻生中学校 原田 哲汰 議員	
質問番号4 総合政策部関係	13
➤ 議席番号10 玉井中学校 三浦 千聖 議員	
➤ 議席番号15 吉岡中学校 飯野 大和 議員	
➤ 議席番号32 江南中学校 浦部 未夢 議員	
質問番号5 市民部関係	16
➤ 議席番号6 大原中学校 原 あかり 議員	
➤ 議席番号19 三尻中学校 勝山 尚幸 議員	
質問番号6 市民部関係	18
➤ 議席番号14 中条中学校 井桁 歩実 議員	
➤ 議席番号16 吉岡中学校 高橋 咲月 議員	
➤ 議席番号23 大幡中学校 佐藤 佑大 議員	

質問番号 7 福祉部関係.....	22
➤ 議席番号 8 熊谷東中学校 小室 すず 議員	
➤ 議席番号 13 中条中学校 白根 拓弥 議員	
➤ 議席番号 21 奈良中学校 篠澤 輝 議員	
➤	
質問番号 8 環境部関係.....	25
➤ 議席番号 12 大麻生中学校 秋山 夏子 議員	
➤ 議席番号 20 三尻中学校 濱口 由貴 議員	
➤ 議席番号 24 大幡中学校 秋山 汐里 議員	
➤ 議席番号 28 妻沼東中学校 稲見 紗花 議員	
質問番号 9 産業振興部関係.....	29
➤ 議席番号 2 荒川中学校 大島 夢芽 議員	
➤ 議席番号 22 奈良中学校 飯田 果歩 議員	
➤ 議席番号 31 江南中学校 三川 蒼太 議員	
質問番号 10 都市整備部関係.....	32
➤ 議席番号 7 熊谷東中学校 吉田 龍二 議員	
質問番号 11 教育委員会関係.....	34
➤ 議席番号 17 別府中学校 藤田 裕太 議員	
➤ 議席番号 27 妻沼東中学校 峯岸 勇吾 議員	
➤ 議席番号 29 妻沼西中学校 荻野 健太 議員	
質問番号 12 教育委員会関係.....	37
➤ 議席番号 4 富士見中学校 吉江 美優衣 議員	
➤ 議席番号 18 別府中学校 森 唯莉 議員	
➤ 議席番号 26 大里中学校 松永 珠希 議員	
5. ジュニア議員の感想 ～ジュニア議会を終えて～.....	40
6. 参考資料(ジュニア議員座席表).....	42
7. 参考資料(答弁のための出席者).....	43

# 1、第 10 回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要

夢・未来熊谷ジュニア議会は、平成 18 年 10 月に「熊谷市子ども議会」としてスタートし、今年度で第 10 回を迎えました。第 6 回からは「夢・未来熊谷ジュニア議会」と名称を変更し、本議会に先立ち、2 回のワークショップを行いました。今回もワークショップを行い、市政に関する事前学習とジュニア議員同士の交流を深めました。

## 第1回ワークショップ(平成27年7月30日[木])

最初に、オリエンテーションとして、自己紹介と学校紹介を行いました。

教育総務課職員による「よくわかる小・中学校の施設と予算」の講義を受講し、その後、グループに分かれて、事前に考えて持ち寄った市への質問を各々発表しました。各班活発な意見交換が行われました。



## 第2回ワークショップ(平成27年8月20日[木])

事前学習では、第 1 回ワークショップで議員さんの関心が高かった「ラグビーワールドカップ 2019」に関する講義を受講しました。その後、受講内容についてグループディスカッションを行い、感想と市への提案を発表しました。

ワークショップ後、議会棟へ移動し、当日の集合場所を確認しました。



## 第 10 回夢・未来熊谷ジュニア議会(平成27年11月14日〔土〕)

熊谷市議会本会議場で開催しました。

富岡 信吾 熊谷市議会議長が臨時議長をつとめ、議長に江南中学校の三川 蒼太議員が、副議長に中条中学校の井桁 歩実議員が指名されました。



市内 16 中学校の 2 年生 32 人のジュニア議員が一般質問形式で一人一問の質問を行い、それに対し、市長をはじめ市の執行部が答弁を行いました。

当日は保護者、学校関係者、熊谷市議会議員など多くの方に傍聴していただきました。



## 2、議事日程

(平成27年11月14日〔土〕13時30分開会)

- 1 市議会議長あいさつ
- 2 開会 臨時議長(熊谷市議会議長)

- 3 市長あいさつ

- 4 議長の選挙(指名推選)

- 5 副議長の選挙(指名推選)

- 6 一般質問

(途中議長が副議長と交代)

- 7 閉会 副議長

- 8 講評 熊谷市議会議長  
熊谷市長



### 3、出席議員(32名)

議席番号	学校名	氏名
1	荒川中学校	浅井 圭三郎
2		大島 夢芽
3	富士見中学校	佐藤 駿
4		吉江 美優衣
5	大原中学校	小林 優太
6		原 あかり
7	熊谷東中学校	吉田 龍二
8		小室 すず
9	玉井中学校	今井 歩
10		三浦 千聖
11	大麻生中学校	原田 哲汰
12		秋山 夏子
13	中条中学校	白根 拓弥
14		井桁 歩実
15	吉岡中学校	飯野 大和
16		高橋 咲月
17	別府中学校	藤田 裕太
18		森 唯莉
19	三尻中学校	勝山 尚幸
20		濱口 由貴
21	奈良中学校	篠澤 輝
22		飯田 果歩
23	大幡中学校	佐藤 佑大
24		秋山 汐里
25	大里中学校	長嶋 一輝
26		松永 珠希
27	妻沼東中学校	峯岸 勇吾
28		稲見 紗花
29	妻沼西中学校	荻野 健太
30		與川 和紗
31	江南中学校	三川 蒼太
32		浦部 未夢

## 4、一般質問

### 質問番号1 市長公室関係

#### 議席番号30 妻沼西中学校 <sup>よかわ かずき</sup> 與川 和紗 議員 市の災害対策について

最近、大雨による洪水、地震、突風などの災害についてよく耳にします。中学校でも、小中合同の防災訓練や、急な地震に対応するための抜き打ちの避難訓練、竜巻を想定しての避難訓練を行いました。避難訓練を行うことで、災害に対する意識の向上に繋がると私は思います。さらに、日頃から訓練をしておくことで、実際に災害が起きた時にも慌てずに行動することができるのではないかと思います。熊谷市として災害が起きた後の準備として食料などを蓄えていることは聞いています。そのような、災害が起きてしまったあとの対策は良く聞くのですが、災害が起きた直後の対策は学校で行っている避難訓練だけのようには思います。

そこで、市全体で災害についての意識を高められ、もし起きてしまった時にも慌てずに行動できるように、熊谷市として大規模な避難訓練をしていくことはできないでしょうか。

#### 答弁 (市長)

與川 和紗議員さんの質問に私から全般的にお答えします。

質問にあったとおり、近年、大規模な災害が各地で発生しています。今年9月に発生した豪雨で、茨城県常総市で鬼怒川の堤防が決壊し、大きな被害が出たことは、記憶に新しいところですが、熊谷市でも、一昨年9月の竜巻、さらに、昨年2月の大雪により大きな被害を受けましたが、このような災害が起きたときに、慌てずに対応するためには、日頃からの訓練が大切です。各学校で行っている避難訓練で、皆さんが真剣に取り組んでいただいていることについては、大変心強く思っています。また、市内の多くの地域で、自主的な防災訓練が行われており、その中のいくつかの地域では、小中学校と自主防災組織とが合同で防災訓練を行っています。こうした「自分たちの地域は自分たちで守る」という、地域の防災力を高める仕組みは、今後、ますます必要となってきます。



熊谷市の全体的な訓練としては、2年に一度、市内の自治会や企業・団体の皆さんに参加いただき、総合防災訓練を実施しています。万一の災害を想定し、様々な訓練種目を設けて行っていますが、日程や会場などの関係から、参加していた人数に限りがあります。

そこで、この総合防災訓練について、改善できる点がないか、よく確認していくとともに、先ほど触れた、各地域での防災訓練に対する支援などに、これまで以上に力を入れていきたいと考えています。

## 議席番号30 妻沼西中学校 與川 和紗 議員 市の災害対策について(危機管理監)

與川 和紗議員さんの「市の災害対策について」にお答えします。

大きな災害が発生したり、発生のおそれがあるときは、テレビやラジオ、防災行政無線などからの情報に注意しながら、慌てず、速やかに、的確な行動をとることが大切です。そのためには、定期的に訓練を重ね、いざというときにとるべき行動を身につけることが重要で、皆さんの学校で行われている訓練も、こうした考えに基づいています。先ほど市長がお答えしたように、熊谷市では、2年に一度、総合防災訓練を実施しており、避難誘導訓練や負傷者の救出・救命訓練、水道やガスなどの復旧訓練など、様々な訓練種目を設けて行っています。防災意識の向上や災害への対応方法の再確認などに役立っていますので、これからも、訓練の内容や方法などについて、さらに改善できないか、よく検討していきたいと考えています。

また、各地域で自主防災組織などが中心となって実施する防災訓練も、それぞれの地域を守る上で重要なものとなっています。そのため、熊谷市では、各地域での訓練で使われる消耗品や、防災のための物品の購入に対する補助金の交付などを行い、地域の防災体制を整えていただくためのサポートを進めており、これからも、その充実に努めていきたいと考えています。



## 質問番号2 総合政策部関係

### 議席番号3 富士見中学校 <sup>さとう しゅん</sup> 佐藤 駿 議員

#### ラグビーワールドカップを成功させるための交通施設について

2019年に開催されるラグビーワールドカップはとても大きな大会ですので、他県、他国からもたくさんの方々が、この熊谷を訪れます。私たちは、来訪して下さった方々を歓迎し、心からのおもてなしをしたいと考えます。そこで、駐車場は十分にあるのか、道路の広さは大丈夫なのか、駅の環境は整っているかを伺います。

また、バスの本数を増やすなどお客様が快適に試合を観戦できるよう工夫することを提案します。渋滞などの混乱や思わぬ事故や事件を防ぐためにも、大切なことだと思います。また訪れた方々は熊谷の地理や場所がわからないと思うので、ところどころに看板などの目印を設置してはいかがでしょうか。

### 議席番号9 玉井中学校 <sup>いまい あゆむ</sup> 今井 歩 議員

#### ラグビーワールドカップの開催地・熊谷市のPRについて

熊谷市は2019年、ラグビーワールドカップの開催地になりました。熊谷駅など、バスや電車の交通の便が良いところには世界中から多くの人々がやって来ます。そこで、市のPRについて質問です。

熊谷市を知らない人にどのように市をPRしていきますか。また私たち中学生ができるボランティア活動など、取り組めることはありますか。

### 議席番号25 大里中学校 <sup>ながしま かずき</sup> 長嶋 一輝 議員

#### 熊谷市のラグビーキャラクターについて

熊谷市民がラグビーキャラクターを考えることで、そのキャラクターへの関心が高まり、ラグビーに興味をわく人が増えると思います。そこで、熊谷市のラグビーキャラクターを、熊谷市民から募集して決定することはできますか。

## 答弁 (市長)

佐藤 駿議員さん、今井 歩議員さん、長嶋 一輝議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

ラグビーワールドカップは、夏季オリンピック、サッカーワールドカップと並ぶ世界3大スポーツイベントのひとつであります。2週間前に閉幕したイングランド大会では、日本代表の大活躍により、ラグビーがクローズアップされ、日本中がラグビーの話題で盛り上がったことを、大変嬉しく感じているところです。その大会が4年後、日本に、そして熊谷

市にやってきます。

佐藤さん、今井さんの意見のように、お客様が快適に試合を観戦する環境を整えることは、開催都市として大変重要な課題だと考えています。私も、イングランド大会をこの目で見てきましたので、主催者のワールドラグビーや日本組織委員会をはじめ、共同開催の埼玉県などと十分な話し合いを持ち、4年後に向けてしっかり準備を進めていきたいと考えています。

また、長嶋さんからはキャラクターに関する興味深い提案をいただきました。熊谷市には「ニャオざね」や「えんむちゃん」などのマスコットキャラクターが既に活躍していますので、これらとの兼ね合いやコラボレーションも含め考えていきたいと思えます。

### 議席番号3 富士見中学校 佐藤 駿 議員(総合政策部長) ラグビーワールドカップを成功させるための交通施設について

佐藤 駿議員さんの「ラグビーワールドカップを成功させるための交通施設について」にお答えします。熊谷ラグビー場での試合は、新幹線の停車駅でもある「熊谷駅」が、お客様をお迎えする中心になってくるものと思われれます。駅からラグビー場のある熊谷スポーツ文化公園へは、2本の県道が通っていますが、整備中の道路もありますので、ラグビーワールドカップに間に合うよう、現在、埼玉県と話し合いを進めています。

また、バスでの観客輸送は非常に有効な手段ですので、お客様をスムーズに運ぶためにはどうしたらよいか、その手法や駅前のロータリーの活用について知恵を出し合っているところです。

一方、車でお越しになるお客様の多くは、関越道や東北道などの高速道路を使うと思われれます。インターチェンジと会場の間にある、熊谷さくら運動公園や行田の総合公園などを利用して「パークアンドライド」という方法を使って、会場の駐車場不足の対策とすることを考えています。今回のイングランド大会では、駅から試合会場まで歩いて40分ある都市もありましたが、たくさんのお客様が歩いて移動をしていました。これは、駅付近に案内看板や地図が効果的に配置されていたためだと思われれますので、熊谷市でもこうしたわかりやすい案内をしていきたいと考えています。



### 議席番号9 玉井中学校 今井 歩 議員(総合政策部長) ラグビーワールドカップの開催地・熊谷市の PR について

今井 歩議員さんの「ラグビーワールドカップの開催地・熊谷市の PR について」にお答えします。

2019年大会は、ラグビー先進国以外で開催されるはじめての大会となるため、日本や開催都市を世界中の人に PR することは大変重要なことです。そのため、熊谷市を含む12の開催都市が協力して、今回、ラグビーワールドカップが行われた、イギリスの首都であるロンドンの中心部に「ジャパンパビリオン」を作り、日本大会を PR しました。ジャパンパビリオンには、日本の文化や熊谷市などの開催都市を紹介するパネル展示、書道

や折り紙の体験ゾーンなどを設け、世界中から集まっているラグビーファンに日本の良さを伝えたところでは。

これからも、例えば、熊谷市を紹介するDVDなどを独自で製作し、出場国に送ってPRしていくことなども考えています。ボランティアに関しましては、今後どのように募集を行うかは未定ですが、おもてなしの中心的な役割を担うのは、熊谷市民となりますので、大勢の皆さんにご協力をいただきたいと思いますと考えています。4年後は皆さんが18歳になる年ですので、英語をはじめ学業に打ち込むと同時に、地域の行事にも積極的に参加するなどして、世界中からお見えになるお客様とコミュニケーションが取れるようないろいろな経験を積んでおいていただけたら、と思います。

## 議席番号25 大里中学校 長嶋 一輝 議員(総合政策部長)

### 熊谷市のラグビーキャラクターについて

長嶋 一輝議員さんの「熊谷市のラグビーキャラクターについて」にお答えします。

熊谷市には、マスコットキャラクターの「ニャオざね」、あついぞ！熊谷のシンボルキャラクター「あつべえ」、縁結びキャラクターの「えんむちゃん」などがおり、それぞれ熊谷市のPRのため日夜活躍しております。なかでも「ニャオざね」は、現在行われている“ゆるキャラグランプリ”にエントリーし、明後日の投票締切日を目前に、ラストスパートに奮闘中です。こうしたマスコットキャラクター、いわゆる“ゆるキャラ”は、地域活性化の新たな可能性として注目を集めており、ラグビー日本代表においてもラグビーワールドカップ 2015の応援キャラクターに「鉄腕アトム」を採用しました。これは、世界的に有名な人気キャラクターであると同時に、アトムが地球を救うために戦っていたように、ラグビー日本代表は日本ラグビーのために奮闘することを願ったものと聞いております。

長嶋さんの提案のように、ラグビーキャラクターを公募することは、ラグビーへの関心を高めるための方法のひとつだと思いますので、ニャオざねなどの“先輩”にも気を遣いながら、考えていきたいと思っています。



## 質問番号3 総合政策部関係

### 議席番号1 荒川中学校 <sup>あさい けいざぶろう</sup> 浅井 圭三郎 議員 北陸新幹線の熊谷停車について

今年の3月、長野から金沢まで北陸新幹線が開通し、首都圏と北陸が新幹線1本、乗り換えなしで行き来できるようになりました。しかし、熊谷駅と隣の本庄早稲田駅には、北陸方面へ直通する列車は1本もなく、全ての列車が長野止まりです。これでは、北陸から首都圏へ向かう方々が熊谷に立ち寄りにくくなり、熊谷市民も北陸へ行きにくいのではないかと思います。

そこで観光客の増加と交通アクセスの向上のために、熊谷市として、JRに対して要望を出す予定はありますか。

また、仮に北陸直通の列車を熊谷に停車させるということになれば、どれくらいの年月がかかるのでしょうか？

### 議席番号5 大原中学校 <sup>こばやし ゆうた</sup> 小林 優太 議員 熊谷市の日本一の暑さ対策について

近年、熊谷市の暑さは、様々な場面で話題となっています。また、熱中症による救急搬送者が増えているという現状もあります。このような現状に対応するために、「暑さ日本一」ではなく「暑さ対策日本一」を掲げたことを知りました。

そこで、「日本一の暑さ対策」とは具体的にどのような対策であるのか、そして、それをどのように市民に広めていこうと考えているか、お聞かせください。

### 議席番号11 大麻生中学校 <sup>はらだ てった</sup> 原田 哲汰 議員 熊谷市への転入促進のPRについて

私の家の周りには、新しい家がたくさん建ち、休日には小さな子どもをつれた家族が、家を見に来る姿をよく見ます。このように、熊谷市に転入してくる家族が増えれば、少子高齢化の対策につながると思います。

そこで、熊谷で暮らすメリットなどのPRをしているか、またどんな方法で転入を促進しているか教えてください。

## 答弁 (市長)

浅井 圭三郎議員さん、小林 優太議員さん、原田 哲汰議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、浅井さんの「北陸新幹線の熊谷停車について」です。上越新幹線、JR高崎線、秩父鉄道本線のターミナル駅となっている熊谷駅は、開業から130年の歴史があり、熊谷市の玄関口として、毎日、多くの方々が利用しています。昭和57年には上

越新幹線の停車駅となり、平成9年には、長野新幹線の停車駅にもなりました。長野新幹線の延伸となる北陸新幹線についても、停車駅となるようあらゆる機会を通してお願いしてきましたが、残念ながら、停車しないこととなり、このため、再度北陸新幹線のダイヤ発表とともに、JR東日本の本社に熊谷駅の停車を要望したところです。JRとしては、航空機に対抗し、金沢へ早く到着するように、できるだけ停車駅を少なくする必要があったとのことですが、熊谷市民の利便性と北陸方面からの観光客の確保のため、今後も、熊谷駅が北陸新幹線停車駅になるようにJR東日本に積極的に働きかけてまいります。

次に、小林さんの「熊谷市の日本一の暑さ対策について」ですが、平成19年8月に日本最高気温が観測され、全国的に暑い街として有名になりましたが、私の一番の心配は市民の皆さんの健康でした。この年は、熱中症で多くの方が救急車で搬送されたり、お亡くなりになられた方もいました。そのような事態をどうにか解決したいと思い、暑さ対策のための「あつさはればれ熊谷流プロジェクト」を立ち上げ、熱中症の注意喚起や暑さを回避する事業を実施するとともに、平成22年度からは、市役所内に暑さ対策のプロジェクトチームを設置し、今年皆さんが受けた熱中症予防の授業や、まちなかオアシスの設置など、毎年度、熊谷オリジナルの効果的な事業を提案・実施してきました。このような継続した取組が評価され、熊谷市は環境省等で組織される「熱中症予防声かけプロジェクト」の主催する「ひと涼みアワード」において高い評価を受け、平成24年度は「トップランナー賞」、25年度は「行政トップランナー特別賞」、昨年度は「トップランナー賞」と3年連続で日本一の賞を受賞し、今年度は、最優秀啓発賞と審査員特別賞のダブル受賞となりました。今後も、市民の皆さんの健康を第一に、熱中症の予防の知識と対策を広め、暑さ対策日本一のまちを継続していきます。



次に、原田さんの「熊谷市への転入促進のPRについて」ですが、まず、人口問題として、日本全体が少子高齢化の影響で人口減少が進んでおり、熊谷市も同様に人口が減少しています。少子高齢化が進むと、働く人が少なくなり、産業が衰え、熊谷市のまちの元気が失われることにもつながってしまいます。歴史と豊富な自然があり、災害が少ない熊谷市の住みやすさを理解してもらい、熊谷市に住みたいと思ってもらえるように、季節ごとのイベントで熊谷の活気をPRしているほか、どこに住もうか考えている人には、家の購入で税金が免除になることや、3世代で同居や近居する場合には補助金があるなど、転入のメリットをホームページや東京にある移住相談窓口などで熊谷市に住んでもらえるようにアピールしています。今後も、熊谷市がこれまでどおり元気な街であるために、熊谷市の素晴らしさをPRし、転入を促進していきます。

## 議席番号5 大原中学校 小林 優太 議員

### 熊谷市の日本一の暑さ対策について(副市長)

小林 優太議員さんの「熊谷市の日本一の暑さ対策について」にお答えします。

熊谷市では、「暑さ」から市民を守るため、平成22年10月に庁内若手職員による暑さ対策を専門とした「暑さ対策プロジェクトチーム」を設置し、「暑さ」に対する新たな対策や調査・研究及び企画・立案を行ってきました。これまでに、小学1年生や高齢者にクール スカーフを配布する「熱中症予防グッズ配布事業」や熊谷駅・籠原駅の階段にアート作品を展示した「涼しさ体感アート事業」、部活動のリーダーとなる中学2年生

に熱中症予防の授業を実施する「暑さに負けるな中学生事業」など、暑さ対策に特化した様々な事業を毎年実施してきました。今年度は新規事業として3歳児に冷却効果のある帽子を配布する「ちびっこ元気事業」、熊谷市の花である桜をあしらった日傘を妻沼聖天山や商店会など約15店舗に設置し、涼みながら聖天山の周辺を巡ることができる「えんむすび日傘事業」を実施しました。こうした暑さ対策の継続した取り組みは、ニュースや新聞で、取り上げられていますが、今後も市民の生命と健康を守るべく日本一の「暑さ対策」を推進し、テレビや新聞等のメディアを通して、日本全国にアピールするとともに、市報やホームページを通して、市民の皆さんに周知したいと考えています。

## 議席番号1 荒川中学校 浅井 圭三郎 議員 北陸新幹線の熊谷停車について（総合政策部長）

浅井 圭三郎議員さんの「北陸新幹線の熊谷停車について」にお答えします。

熊谷駅は、熊谷市民だけでなく、周辺の市町も含め、現在1日平均約70,000人の乗降客がおります。その内、熊谷駅の新幹線利用者は、1日平均で約9,000人おり、北陸新幹線が停車すれば、これまでも増して、熊谷市民の皆さんの利便性が高まるとともに、JR東日本の新たな利用者の開拓にもなります。熊谷市は、うちわ祭や花火などの毎年行われるイベントのほか、サッカーやラグビー、マラソンやサイクリングなどのスポーツイベントも数多く開催されております。そして、2019年には、ラグビーワールドカップの開催会場に決定したことで、日本だけでなく海外からも多くのお客様をお迎えすることとなります。

## 議席番号11 大麻生中学校 原田 哲汰 議員 熊谷市への転入促進のPRについて（総合政策部長）

原田 哲汰議員さんの「熊谷市への転入促進のPRについて」にお答えします。

熊谷で暮らすメリットについては、皆さんの机の上に配付しました、熊谷での暮らしをイメージしてもらうための小冊子「熊谷で暮らす」のほか、熊谷で生活する場合の市の助成やメリットの内容を記載したリーフレットの配布や市のホームページを活用してPRしています。転入の促進については、この「熊谷で暮らす」を市内及び近隣市町の不動産会社や市内にある企業、飲食店や美容院などで配布したり、東京都内にある移住相談窓口などで配布したりするなど、熊谷に住んでもらえるようにPRに取り組んでいます。また、熊谷に住んで働くことも考えてもらえるように、大学や就職説明会など市外の若い人たちが集まるような場でも配布しています。これからも、様々な方が「熊谷市に住みたい」と思えるように、これまで以上に子育て支援や産業育成、学力日本一を目指している「住みやすい熊谷」のPRに力を入れていきたいと考えています。

## 質問番号4 総合政策部関係

### 議席番号10 玉井中学校 <sup>みうら</sup> <sup>ちさと</sup> 三浦 千聖 議員 市報くまがやについて

私は小学校の頃、市報を読んでも難しいところが多く、あまり熊谷市のことがわかりませんでした。熊谷市のホームページにあるキッズページでは、子どもがわかりやすく熊谷市を知ることができるよう工夫がされています。

そこで、市報について質問です。市報に関しても、熊谷市のことが子どもにとってわかりやすくなるような工夫はありますか。

### 議席番号15 吉岡中学校 <sup>いの</sup> <sup>やまと</sup> 飯野 大和 議員 ふるさと納税について

ぼくは、去年の夏休みに、税について学び、熊谷市にも「ふるさと納税」というものがあることを知りました。そして、実際に市役所の納税課へ行くなど行動を起こしてみました。

熊谷市では、ふるさと納税は、年間いくらくらい納められ、また、どのようなところに使われているのですか。

### 議席番号32 江南中学校 <sup>うらべ</sup> <sup>みゆ</sup> 浦部 未夢 議員 ゆうゆうバスについて

私が住んでいる江南北地区はとても交通が不便でしたが、数年前にゆうゆうバスが開通し、小さいお子さんからお年寄りまで便利に利用しています。しかし、通学時間帯の本数が少なく、熊谷駅を利用して高校に通う人たちは、保護者の送迎に頼っている人も多くいるのが現状です。また、最終のバスが熊谷駅7時発ですので、完全下校が7時の高校生は利用することができません。

そこで、通学、下校時間帯のバスの運行本数を増やすことを検討していただけないでしょうか。よろしくお願いします。

## 答弁 (市長)

三浦 千聖議員さん、飯野 大和議員さん、浦部 未夢議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに三浦千聖議員さんの「市報くまがや」についてですが、市が行っている制度やその手続について、あるいは、催しの案内など生活に役立つ情報を広く市民の

皆さんにお知らせする方法として、市報は、最も重要な手段だと考えています。ただし、その内容によっては、一部、難しいところがあるかもしれません。そのため、できる限りわかりやすい表現に努め、視覚的にも興味をもってもらえるようにレイアウトなどを工夫しています。これからも、いろいろな工夫を重ね、多くの人々に愛される市報にしていきたいと思っております。

次に、飯野大和議員さんの「ふるさと納税について」です。全国的に話題になっているふるさと納税は、納税という言葉がついていますが、実際には自分が選んだ自治体に寄附をして、そのまちを応援するという制度です。昨年からは、ふるさと納税をしていただいた人に熊谷市の特産品をお礼として贈呈するようになってからは、全国から65件のふるさと納税がありました。この制度は、その市町村の特産品を周知し、売り込むチャンスでありますので、ふるさと納税者のニーズに合わせ、特産品の品目と内容を充実して、熊谷市へのふるさと納税を拡大していきたいと考えています。

次に、浦部未夢議員さんの「ゆうゆうバスについて」ですが、ゆうゆうバスは、民間路線バスが運行していない地域の高齢者や交通弱者を対象として運行しているものです。ゆうゆうバスの運行経路は、熊谷駅を拠点に、市役所などの行政施設や病院等を結ぶ5路線6系統で、市内全域を網羅しています。利用者の状況や地域の方々の要望を踏まえ、運行コースや時刻表などを定期的に見直し、利便性の向上と効果的な運行ができるよう改訂していますので、飯野さんや市民の皆さんの御意見を聞きながらゆうゆうバスを改善していきたいと考えております。

## 議席番号10 玉井中学校 三浦 千聖 議員 市報くまがやについて（総合政策部長）

三浦 千聖議員さんの「市報くまがやについて」に、お答えします。

市報くまがやは、毎月1日に約7万部発行し、市内の各世帯へ配布しています。市報では、市が今、取り組んでいることやイベントなど、最新の情報を、広く市民の方々に発信しています。これらの情報は、幅広い世代の方を対象としているため、三浦さんの質問のとおり、小学生や中学生の皆さんには、少し難しい内容が含まれていたかもしれません。

熊谷市では、市報とは別に、子ども向け広報誌として「くまがやキッズ」を2ヶ月ごとに定期発行し、市内小・中学校の児童・生徒さんへ配布しています。こちらは、学校や市内の出来事など、みなさんにとって身近な情報を掲載し、漢字に振り仮名を振り、文章もやさしい表現にしています。市報についても、読みやすく、わかりやすくするため、全体の半分のページをカラーで構成し、写真やイラストなどを多く使用するなど工夫しているところです。ここでは、うちわ祭や熊谷染の特集など皆さんが興味を持ちやすい記事の掲載を心がけています。

また、裏表紙には、熊谷市マスコットキャラクターの「ニャオざね」が市内の公園を紹介する「ニャオざねゆる散歩」をシリーズ掲載されていますので、是非ご覧ください。これからも、わかりやすく読みやすい内容となるよう心がけ、皆さんにも親しみを感じてもらえるような市報を作成していきたいと考えています。

## 議席番号15 吉岡中学校 飯野 大和 議員 ふるさと納税について(総合政策部長)

飯野 大和議員さんの「ふるさと納税について」にお答えします。

始めに、平成26年度の市外の方からの熊谷市へのふるさと納税の額ですが、昨年の4月から9月までの6か月間で21万円、その後、お米、大和芋、うどん、お菓子、お酒などの熊谷市の特産品10品目の中から好きなものを寄附者へのお礼として贈呈するようになった10月から今年の3月までの6か月間で81万6千円、合わせて102万6千円のふるさと納税をいただきました。

また、今年の5月からは、お礼の品にハムやソーセージ、醤油、はちみつなど10品目を新たに追加して、全部で20品目としたところ、これまで以上のペースでふるさと納税の額も増えています。いただいたふるさと納税の利用方法ですが、ふるさと納税をしていただいた方に、そのお金の利用方法を選んでもらっています。例えば、熱中症予防などの暑さ対策に関するもの、うちわ祭の山車の修理などお祭りに関するものなどがあり、2019年のラグビーワールドカップ熊谷開催のための費用として使うことなども選んでいただくことができます。

飯野さんも親戚の方などで、市外にお住まいの方がいらっしゃいましたら、ぜひ、熊谷市にふるさと納税をしていただくよう紹介してください。

### 議席番号32 江南中学校 浦部 未夢 議員 ゆうゆうバスについて（総合政策部長）

浦部 未夢議員さんの「ゆうゆうバスについて」にお答えします。

現在、江南地区では民間の路線バスが走っていない地域を中心にゆうゆうバス「ほたる号」を運行しています。要望のありました通学、下校時間帯の増便についてですが、ほたる号は1台の車両で、江南行政センターと熊谷駅間、江南行政センターと籠原駅間を休みなく交互に運行しています。効率的な運行に心がけているところですが、小さいお子さんや、皆さんのような学生さん、そしてお年寄りまで、必要性が様々に違



うものですから、全ての皆さんのニーズに応えることは難しいものがあります。このため、今後は例えば、ゆうゆうバスと民間路線バスが複数の停留所で乗り継げるような、公共交通ネットワーク全体を整備する中で、市民の皆さんの利便性が高まる公共交通の在り方を検討していきたいと考えています。

## 質問番号5 市民部関係

### 議席番号6 大原中学校 <sup>はら</sup>原 あかり 議員

#### 自転車利用者に対する交通安全対策と自転車保険に加入する市民へのサポートについて

市内では、自転車利用者がとても多く、数年前には自転車道を試験的に設置するということが行われましたが、現在では一部の地域にしか設置されていません。

近年、自転車利用者が引き起こす重大な交通事故が増えていることを受け、6月1日から改正道路交通法が一部施行され、自転車利用者に対する規制が強化されました。

そこで、2つの質問をさせていただきます。1つめは、今後、自転車利用者の交通安全対策としてどのような取組を考えていますか。2つめは、法改正により自転車保険に加入することも必要と考えられる中で、市民に対して補助金を支給するなどのサポートをどのように考えていますか。

### 議席番号19 三尻中学校 <sup>かつやま たかゆき</sup>勝山 尚幸 議員

#### 熊谷市内での一年間の自転車での交通事故について

僕たちもよく使う自転車には、いろいろなルールが決められていると思います。しかし、そのルールを守らず事故に遭う話をよく耳にします。実際、僕の周りでも自転車のルールを守れていない人がいます。

学校の先生方も自転車の乗り方・ルールについてのお話をよくしてくださいませ。熊谷市内では、自転車による事故やルール違反が一年間に何件起こったか、さらにその事故に対してどのような対応・対策をしているのか、教えてください。

## 答弁

### (市長)

原 あかり議員さん、勝山 尚幸議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

原さんと勝山さんのお二人から、自転車利用の交通安全対策などについて質問をいただきましたが、関連した内容となりますので、合わせてお答えします。自転車は、子供から高齢者まで利用できる身近な交通手段です。

また、燃料費が不要で排気ガスを排出しないため、経済的で環境にやさしい乗り物でもあり、近年では、健康意識の高まりから、通勤・通学をはじめレジャー・レクリエーション等でも自転車の利用が増えています。

その一方で、自転車利用者の一部には交通ルールを無視した悪質で危険な運転も見られます。全国の交通事故のうち、自転車に関連する交通事故の割合は2割程度ですが、事故の中には、自転車運転者が事故の加害者となり、高額な賠償責任を負うケースも発生しています。

このような状況から、今年6月1日、改正道路交通法が施行され、自転車運転中にルール違反を繰り返すと自転車運転者講習を受ける制度ができました。熊谷市では、

熊谷警察署等と連携し、新たな制度の周知や自転車の安全利用等の指導に取り組んでいるところです。これからも、悲惨な交通事故の防止に向け、交通ルールの遵守とマナーの向上を図っていききたいと考えています。

## 議席番号6 大原中学校 原 あかり 議員

### 自転車利用者に対する交通安全対策と自転車保険に加入する市民へのサポートについて(市民部長)

原 あかり議員さんの「自転車利用者に対する交通安全対策と自転車保険に加入する市民へのサポートについて」にお答えします。

はじめに、自転車利用者の交通安全対策への取組ですが、今年6月1日、自転車運転者講習を制度化した改正道路交通法が施行され、この周知を図るため、市では、市庁舎にポスターの掲示と警察で作成した新制度のチラシを設置し、あわせて熊谷市ホームページにより、広く市民に情報提供しています。

また、熊谷警察署等と連携して実施する街頭啓発活動等において、新制度のチラシを配付し周知をしているほか、交通安全教室においても、新たな制度の周知や自転車の安全利用等の指導に取り組んでいるところです。これからも、各キャンペーンでの街頭啓発や交通安全教室等を引き続き実施するとともに、熊谷駅自転車駐車場利用者への周知など、あらゆる機会を捉え、子供から高齢者まで、幅広い年齢層に、自転車運転のルールの遵守とマナー向上を図っていききたいと考えています。

次に自転車保険に加入する際の補助金支給についてですが、改正法施行以前から自転車運転者が加害者となる交通事故について、高額な賠償額の支払いを命じる判決が出されるケースが増えていますので自転車保険への加入は大切なこととなります。しかし、自転車保険への加入は任意であり、ほかの自動車保険等との公平性等も考慮しますと、現時点においては、補助金の支給は難しいと考えています。

## 議席番号19 三尻中学校 勝山 尚幸 議員

### 熊谷市内での一年間の自転車での交通事故について(市民部長)

勝山 尚幸議員さんの「熊谷市内での一年間の自転車での交通事故について」にお答えします。

はじめに、自転車による交通事故件数ですが、熊谷警察署によりますと、平成26年は192件発生しており、その多くが出会い頭による事故とのことです。

また、この交通事故件数のうち、ルール違反の件数は、144件とのことです。主な事例としては、指定された場所における一時不停止や、運転中の傘差しや携帯操作等の安全運転義務違反です。

次に事故への対応・対策ですが、重大な交通事故が発生した場合には、熊谷警察署等と連携し、事故現場の現地調査を行い、事故防止対策を検討した上で、注意喚起の看板や道路標識の設置など、事故防止に有効と考えられる対策を実施しています。

## 質問番号6 市民部関係

### 議席番号14 中条中学校 <sup>いげた あみ</sup> 井桁 歩実 議員 空き家の安全対策について

私の住んでいる地域は空き家が多く、生け垣も手入れをしていないので、狭い道がよけいに狭くなっています。空き家に不審者が入り込んだり、火事になったこともありました。

そこで、空き家対策についてどう考えているのかお尋ねします。

### 議席番号16 吉岡中学校 <sup>たかはし さつき</sup> 高橋 咲月 議員 熱中症対策の放送について

熊谷市は、暑い街として全国的に有名です。そのため、熊谷市では、駅に設置されているミストや、市内の小中学校全てにエアコンを設置するなど、さまざまな熱中症対策がされています。他にも、熱中症の危険性があるときは、放送で呼びかけもしています。

そこで、私は、朝の防災熊谷の放送で、「朝食でみそ汁を飲むこと」、「水分補給をこまめに行うこと」といった呼びかけをしたらいいと思います。そうすると、熊谷市民全員に知ってもらえると思います。こういった、熊谷市民全員にむけての熱中症対策をどのようにしているのでしょうか。

### 議席番号23 大幡中学校 <sup>さとう ゆうだい</sup> 佐藤 佑大 議員 細い道に街灯を増やすことについて

私はバスケットボール部に所属しています。本校の部活動は現在どの部も精力的に活動し、技術の向上と人間力の育成を目指して頑張っています。その一方で大幡地区は細い道が多く、また日が短くなると暗くなり街灯が少ないため部活の後の下校が大変危険です。

そこで質問です。熊谷市では街灯をつける基準はどうなっているのか教えてください。またどのようにしたら増やせるのか教えてください。

## 答弁 (市長)

井桁 歩実議員さん、高橋 咲月議員さん、佐藤 佑大議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、井桁さんの「空き家の安全対策について」ですが、近年、都市への人口集中と世帯構成の変化に加え、高齢化や人口減少が進む中で、空き家の数は増え続けている状況にあります。

こうした中で、昨年、国では「空き家等対策の推進に関する特別措置法」を制定し、今年5月26日に全面的に実施されました。この法律では、一番基本的な原則として、空き家等はその所有者が自らの責任において適切に管理するとし、その一方で、市町村に対しては、空き家に関する施策を総合的かつ計画的に実施するよう努めるとされています。

現在、市では、この特別措置法を根拠として空き家対策検討委員会をつくり、空き家の利用や活用をはじめ、効率的で効果的な空き家対策を検討しているところです。

次に、高橋さんの「熱中症対策の放送」についてお答えします。

熊谷市は、平成19年に、当時の国内最高気温である40.9度を記録し「日本一暑いまち」として有名になりました。それ以来、市民の健康を守るため「暑さ対策日本一」を目指し、様々な取り組みを行ってきました。「暑さに負けるな中学生事業」はその取り組みの一つで、参加した皆さんからは、熱中症に対する意識が高められたとの感想を聞いています。

また、平成20年度には、日本気象協会とタイアップし、当時、日本初となる熱中症予防情報発信システムを導入しました。このシステムを活用し、市のホームページや防災行政無線で、熱中症予防情報を発信しています。こうした取り組みが認められ、熊谷市は、暑さ対策が最も優秀である団体に贈られる「トップランナー賞」など、平成24年度から3年連続で受賞しました。

今後も、市民の健康を守るため、「暑さ対策日本一」を目指して、熱中症対策に取り組んでいきたいと考えています。



次に、佐藤さんの「細い道に街灯を増やすことについて」ですが、市では、犯罪の起こらない地域環境の整備を目的として、通学路をはじめ、暗くて危険な場所に、防犯灯と呼ばれる街灯を地域と協力し、設置しています。防犯灯の設置にあたっては、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを基本に、地域の自治会に設置をお願いし、市は設置費用などに

対し支援をしています。

また、平成29年度を目標に、市内のすべての防犯灯を明るさや経済性に優れたLEDに交換する取り組みも進めています。

これからも地域と市が協力して、安心して、安全に暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

## 議席番号14 中条中学校 井桁 歩実 議員

### 空き家の安全対策について(市民部長)

井桁 歩実議員さんの「空き家の安全対策について」にお答えします。

総務省が5年ごとに実施している「住宅・土地統計調査」では、平成25年度の空き家数は全国で820万戸、率で13.5%と過去最高となっています。この調査では、熊谷市の空き家数は、推計値ですが、12,660戸、率で14.2%と全国の平均を上回っています。こうした中、適切な管理が行なわれずに放置される空き家が増え、環境面や衛

生面などで社会的な問題となっています。こうした状況を背景として、今年5月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が全面的に実施されました。

現在、市では、環境面や衛生面で、近隣へ悪影響を及ぼしている空き家等について、市民から連絡があると、職員が現地を確認し、空き家の所有者を調べ、所有者に適切な管理のお願いをしています。このほか、今回の法律の実施を受けて、今年7月に、関係各課による検討委員会を設置し、空き家等の発生の抑制や利用可能な空き家等の活用など、市が取り組むべき具体的な施策を検討しているところです。

## 議席番号16 吉岡中学校 高橋 咲月 議員 熱中症対策の放送について(市民部長)

高橋 咲月議員さんの「熱中症対策の放送について」お答えします。

熱中症対策の放送については、平成20年に導入した熱中症予防情報発信システムで熱中症になる危険性の高い時間帯や地区を予測し、防災行政無線を使用して注意喚起の放送をしています。具体的には、市内の小学校30校に設置した観測機器で、午前9時時点の気温と湿度を測定し、その測定結果から、システムが午後1時から3時の間の状況を予測します。その予測結果が、熱中症となる危険性の高さを示す予測指標ランク5段階のうち「4の嚴重警戒」以上が、5つ以上の小学校区で表示された場合に放送します。放送は、原則、午前10時40分と午後0時40分の2回です。さらに最高気温の予想が35℃以上となる高温注意情報が気象庁から発表された場合には、午後3時40分にも放送しています。日中、自宅にいたることが多い高齢者や小さいお子さんがいるご家庭では、この放送で、外出を控え、水分をこまめに補給する等して熱中症予防を実践しているものと思われます。

また、小中学校でも、放送により屋外の運動を中止する等、熱中症予防を実施しています。早朝から市外に出勤される方は、放送を聞くことができませんが、放送以外でもホームページや熱中症予防情報メールを活用して広く市民に熱中症予防情報を発信しています。

高橋議員さんからご提案された朝の防災行政無線での呼びかけにつきましては、熱中症予防の放送時刻は、熱中症になる危険性が高まる時間帯にあわせて放送することが、効果的であると考えことから、現在のままで実施したいと思います。水分補給などは熱中症予防に大事なことですので、家族で朝の一声をかけるなど、お互いを気づかうようにしてください。

今後も、市民が健康で安心して暮らせる「暑さ対策日本一」にふさわしい熱中症予防対策を強化していきたいと思えます。

## 議席番号23 大幡中学校 佐藤 佑大 議員 細い道に街灯を増やすことについて(市民部長)

佐藤 佑大議員さんの「細い道に街灯を増やすことについて」にお答えします。

大きな道路の照明灯については、道路の構造によって定められた国の基準に基づき、国や県、市などの道路管理者が照明灯を設置することになっていますので、基準に満たない細い道路等については、道路照明灯は設置されません。このため、市では、市民が安心して安全に生活できる地域環境を整備するため、自治会と協力し、毎年、防犯灯を設置しており、昨年度は、318基を設置しました。現在、市内には、15,800灯ほどの防犯灯が設置されています。防犯灯の設置については、地域の状況をよく知っている自治会にお願いしていて、市では設置に要した費用に対し支援していますの

で、部活動の帰りなどに暗くて危険と感じるような場所がある場合は、保護者を通じて自治会の役員の方などに、防犯灯の設置について相談をしてください。

また、市では、平成29年度までに、市内のすべての防犯灯を、環境に優しく、電気料金の安い、LEDへ交換することを目標とし、補助額の加算や無利子の貸付金制度を新設していますので、これからLEDの明るい防犯灯がもっと増えると思います。

それから、佐藤さんへのお願いですが、防犯灯が設置された場所は、明るく防犯効果が高くなりますが、頼りすぎると危険ですので、防犯ブザーを携帯したり、友達と一緒に帰るなど、普段の心がけも忘れないでください。

## 質問番号7 福祉部関係

### 議席番号8 熊谷東中学校 <sup>こむろ</sup> 小室 すす 議員 待機児童について

近年、保育所が定員を超えているため、入所条件を満たしていても入所できない児童が増えていると聞きました。

そこで、待機児童についての対策として、どのようなことを行っているのでしょうか。教えてください。

### 議席番号13 中条中学校 <sup>しらね たくや</sup> 白根 拓弥 議員 高校生の医療費について

熊谷市では、中学生までの医療費が無料なので大変助かっています。今後、高校生までの医療費が無料になるという計画があると聞いています。自分も再来年には高校生になるので、身近な問題で、とても興味があります。

そこで、高校生の医療費無料化はいつごろになりますか。また、医療費を無料にするための費用はどのように捻出するのですか。

### 議席番号21 奈良中学校 <sup>しのざわ ひかる</sup> 篠澤 輝 議員 超高齢社会について

高齢者が増加していく現状がある中で、高齢者施設における人手不足や、他の職業に比べ賃金が低いことなどがしばしば問題に挙げられています。熊谷市も例外ではなく、高齢者施設を必要としている人が増えていくと思います。

そういった施設における人手不足や、賃金の確保について、熊谷市としてはどのような対策や制度、施策をとっていきますか。

## 答弁 (市長)

小室 すす議員さん、白根 拓弥議員さん、篠澤 輝議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、小室さんの「待機児童について」は、平成25年4月、平成26年4月と2年

連続で0人でしたが、本年4月には、残念ながら、待機児童が4人となりました。

この待機児童への対策としては、私が求める政策の一つである認定こども園の設置促進や、本年4月からスタートしました「子ども・子育て支援新制度」に基づく小規模保育施設の認可などにより、保護者の方が子どもを安心して預けて働くことができるよう、受入体制の充実を図っていきたいと考えています。

次に、白根さんの「高校生の医療費について」ですが、こども医療費の助成は、「子育てするなら 熊谷市」を推進するための重要な施策として、現在、中学生までを対象にし、無料で診察、投薬が受けられるようにしています。対象年齢を高校生まで拡大することは、私が求める政策の一つであります。市民の皆様からの貴重な税金を財源とすることから、受益と負担の公平性を確保する考え方を取り入れ、新たに、市税等を納めていただいていることを条件とし、平成28年度中には、実施したいと考えています。

次に、篠澤さんの「超高齢化社会について」ですが、熊谷市では、現在、市民の4人に1人が65歳以上の高齢者の方です。熊谷市が目指す将来像「いきいきあんしん 元気で長寿のまち くまがや」の実現に向けて、高齢者の皆さんが、元気に、健康で生きがいを持って暮らせるよう、様々な事業に取り組んでいます。在宅での生活が困難になり、施設を利用しなければならない方は年々増加しており、入所者のケアを行うには、たくさんの介護職の方が必要です。介護の仕事は大変ですが、人を支え社会を支える大事な仕事でもあります。介護職の方が、資格や能力に見合った報酬が得られるように、また、介護の仕事に就きたいという若者を増やしていけるよう、国や県と協力して様々な対策をとってまいります。

## 議席番号8 熊谷東中学校 小室 すず 議員

### 待機児童について(福祉部長)

小室 すず議員さんの「待機児童について」にお答えします。

現在、市内には公立保育所が12か所、民間の保育園が23か所、幼稚園と保育園が一緒になった認定こども園と、定員が19人以下の小規模保育施設が、それぞれ1か所ずつあります。しかし、夫婦共働き世帯が増加しているのに合わせて、保育所への入所希望者数も増加しています。このため、待機児童の解消に向けて、熊谷市では、本年3月に策定いたしました「熊谷市子ども・子育て支援事業計画」の中で、主に、0歳から2歳児までの受入定員を増やすことを目指しています。

平成26年度には、民間保育園1園、認定こども園1園の増改築工事に対し支援を行ったほか、小規模保育施設1か所を認可し、定員を増やすことができました。

今年度も、同様の支援により、定員を増やしていく予定です。

今後も、保護者の方の保育ニーズに対応できるよう、待機児童の解消に取り組んでいきたいと考えています。

## 議席番号13 中条中学校 白根 拓弥 議員

### 高校生の医療費について(福祉部長)

白根 拓弥議員さんの「高校生の医療費について」にお答えします。

平成26年度に市が負担したこども医療費は、中学生までで、6億2,317万2,062円となっています。今後、対象年齢を高校卒業まで拡大した場合には、医療費が、さらに約5,000万円増加する見込みです。小学生以上のこども医療費は、熊谷市が独自で

行っている事業であり、市民の貴重な税金を財源として実施していることから、新たに、市税等を納めていただいていることを条件とすることにより、高校生までの医療費の補助ができるような制度としていきたいと考えています。

## 議席番号21 奈良中学校 篠澤 輝 議員 超高齢社会について（福祉部長）

篠澤 輝議員さんの「超高齢化社会」について、お答えします。

国では、介護職員の人手不足に対応するため、介護職の賃金アップのための報酬加算が行われましたが、他の職業の平均賃金と比較するとまだ十分ではありません。

埼玉県では、平成 26 年度から「介護職員しっかり応援プロジェクト」を立ち上げ、介護職の賃金改善のために、職員の資格や経験、能力に応じて、賃金が向上していく新たな賃金体系に移行するよう、県内事業所に導入を働きかけています。

また、「介護の魅力PR隊」を結成し、若手介護職員が、大学、高校などを訪問し、介護の仕事の魅力を伝える事業や、職員の確保や定着に優れた取組みを行った事業所の表彰を行うなど、介護職のイメージアップや魅力ある職場づくりにも取り組んでいます。さらに、介護職員の研修の受講費用の一部を助成し、職員の方が資格をとりやすいうようにしています。

熊谷市では、こうした国、県に協力して周知してまいります。

## 質問番号8 環境部関係

### 議席番号12 大麻生中学校 <sup>あきやま なつこ</sup> 秋山 夏子 議員 公害調査について

熊谷市にある太平洋セメントの煙突から煙が出ています。その煙が大麻生地区の畑などに被害がないか、昔は調べていたと祖父から聞きました。今も調べているのか気になりました。

大麻生地区の公害、熊谷市全域の公害があるかないかの調査を実施しているか教えてください。

### 議席番号20 三尻中学校 <sup>はまぐち ゆき</sup> 濱口 由貴 議員 太陽光発電について

熊谷市の再生エネルギーの中で、太陽光発電への取組について質問します。東日本大震災による福島第一原発の事故以降、日本の原子力発電に頼った発電が見直され、再生エネルギー活用拡大が進められてきています。我が家も2013年に太陽光発電装置を設置しました。

熊谷市は住宅用太陽光発電装置の設置件数を上げるために、今までどのような取組をされてきたのか、さらにこれからどのような対策を取っていくつもりなのかを教えてください。

### 議席番号24 大幡中学校 <sup>あきやま しおり</sup> 秋山 汐里 議員 ゴミ拾い活動について

熊谷市は、利根川と荒川という大きな河川にはさまれた、自然豊かな都市です。私は小さい頃、荒川の河川敷でよく遊んでいて、今でも荒川の自然が大好きです。

しかし、最近たばこの吸い殻やゴミなどが落ちていることがあります。非常に残念です。

本校では部活動の当番制で朝清掃を行っているのですが、自然豊かな、きれいな熊谷市を目指して、市全体でゴミ拾い活動をしてみたいか教えてください。

### 議席番号28 妻沼東中学校 <sup>いなみ さやか</sup> 稲見 紗花 議員 ミストやクーラーの設置について

暑いことで有名な熊谷市では今、熱中症対策に力を入れていると聞きました。そして、駅ではミストが設置されていたり、熊谷市の学校の教室などにクーラーがつけられました。そうして市の中心部や学校などには取組の効果が見られます。しかし、中心部以

外の地域の人が使う場所にはあまり効果が見られない気がします。

私は、そのような地域の公共施設にミストなどを設置したらいいと思います。そうすれば、この暑い熊谷市でも熱中症になる人を減らせると考えました。今後ミストやクーラーの設置の予定はありますか。

## 答弁 (市長)

秋山 夏子議員さん、濱口 由貴議員さん、秋山 汐里議員さん、稲見 紗花議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、秋山 夏子さんの「公害調査について」ですが、環境基本法では、公害を、人々の事業活動などが原因で発生する大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下や悪臭によって人の健康や生活環境に被害が生じることと定義しています。人は誰もが快適な生活環境を求め、そして良好な環境は私たちの生活に潤いを与えてくれます。そのため、熊谷市では、公害に関する各種調査を実施することで、大気汚染をはじめとした公害の発生を未然に防ぐとともに、汚染物質の削減対策に取り組み、市民が安心して生活できる環境の保全に努めています。

次に、濱口さんの「太陽光発電について」ですが、熊谷市は、地球温暖化防止対策の中で、CO2等の温室効果ガスの排出削減を図るため、太陽光発電の普及促進に取り組んでいます。特に、熊谷市は、日照時間、快晴日数とも全国トップクラスであり、太陽光発電設置に関しては大変優位な環境にあります。濱口さんのお住まいは、既に太陽光発電システムを設置されたとのことですが、熊谷市では太陽光による発電割合を増やすため、学校の体育館の屋根に太陽光パネルを設置したり、市有施設の屋根や土地を太陽光発電事業者に貸付けを行っています。さらに、多くの家庭に設置してもらえるように、設置費の補助を行い、その普及拡大に努めています。

これからも、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの活用を積極的に推進していきます。

次に、秋山 汐里さんの「ゴミ拾い活動について」ですが、熊谷市には、利根川と荒川の二大河川や広大な田園・丘陵などの豊かな自然があり、私たちは市民の皆さんと一緒にこうした貴重な自然環境を大切に、将来にわたって守っていかなければならないと考えています。秋山さんが通う大幡中学校では、部活動のメンバーが当番制で、朝清掃を行っているとのことですが、とても素晴らしいことだと思います。こうした環境美化活動が、市全体に広がるように働きかけていきますので、引き続き秋山さんもお協力をお願いします。

次に、稲見さんの「ミストやクーラーの設置について」ですが、平成20年に熊谷駅に設置した冷却ミストは、クールダウンと憩いの空間を演出し好評を得ており、毎年、新聞やテレビに取り上げられ、「暑さ対策日本一」である熊谷市の夏のシンボルとなっています。

クーラーについては、体育館など一部の施設を除き、市民の皆さんが利用される施設にはすべて設置され、市有施設の一部は、クールスポットとして利用されています。

また、熊谷市は、毎年暑さ対策として各種事業を実施していますが、これらの取り組みは毎年高い評価をいただいております。

これからも、市民の皆さんの健康を守るため、熊谷市ならではの暑さ対策に取り組んでいきたいと考えています。

## 議席番号20 三尻中学校 濱口 由貴 議員 太陽光発電について(副市長)

濱口 由貴議員さんの、「太陽光発電について」にお答えします。

住宅用太陽光発電システムの設置数を上げる取組として、平成19年度から設置費用に対する補助事業を開始し、平成26年度までの累計で、1,824 基の設置、補助額は1億6,994万9,250円となり、これにより約2,858トンのCO2削減効果がありました。なお、発電出力の合計は、7,725キロワットで、これは、4人家族とした場合、約1,900世帯の年間消費電力に相当します。

また、平成26年度から太陽光発電による「創エネ」、LED照明による「省エネ」設備等をもつ、いわゆる「スマートハウス」に対する補助制度も創設したところです。



今後の取組についてですが、再生可能エネルギーの割合を高め、CO2など温室効果ガスの排出削減を図ることは、温暖化防止にも大変効果的であることから、引き続き、住宅用太陽光発電装置や太陽熱利用システム、家庭用燃料電池に対する補助等を更に推進していきたいと考えています。

中学生の皆さんにも、気候変動など環境の変化に大きな影響を及ぼす地球温暖化の進行を防止するために、不要な照明や見ていないテレビをこまめに消すなど、家庭でできることから協力をお願いします。

## 議席番号12 大麻生中学校 秋山 夏子 議員 公害調査について(環境部長)

秋山 夏子議員さんの「公害調査について」にお答えします。

質問いただきました、工場の煙突から煙のように見えるものは、ダイオキシン類などの有害物質の発生を除去するために、排出するガスを急速に冷却し、それが水蒸気となったものです。また、大麻生地区の畑で、以前行っていた調査は、国が平成10年度に実施した「ダイオキシン類全国一斉調査」と思われますが、現在、熊谷市では、大気などの環境の実態把握のため、熊谷工業団地周辺を含め市内21カ所で、二酸化硫黄や大気に浮遊するばいじんなどについて、法律で定められている環境基準を満たしているかどうか、毎年定期的に調査測定しています。

このほかに、工業団地周辺等の大気の監視や、悪臭の発生を早期に発見できるように「きれいな空気巡視員」制度を設け、定期的な巡視活動も行っています。

こうした環境を保全する取組によって、熊谷市は、大気や水質など市内全域で環境基準を達成しています。

これからも、市民の皆さんが、熊谷市で安心して安全な生活が送れるように公害調査などの取組を実施していきます。

## 議席番号24 大幡中学校 秋山 汐里 議員 ゴミ拾い活動について(環境部長)

秋山 汐里議員さんの「ゴミ拾い活動について」にお答えします。

熊谷市では、環境基本計画を作成し、良好な都市環境の創造のために、環境美化の推進を施策の一つとして掲げ、取り組んでいます。例えば、荒川については、国土交通省、埼玉県、熊谷市などで協議会を結成し、河川敷内に不法投棄されたごみの撤去を行っているほか、NPO法人等により水質調査やごみ拾いなども行われています。

また、皆さんの身近な地域では、自治会ごとに環境美化推進員さんを委嘱して、集積所を中心とした地域の美化活動をお願いしているほか、春と秋のごみゼロ運動では、自治会等を中心に、市内各地域の道路や水路の清掃活動をしていただいています。

さらに、公園サポーターとして公園の除草や清掃を行っている団体や、ロードサポーターとして国道や県道の清掃を行っている小中学校や企業等もあり、市内では、様々な環境美化活動が行われています。

2019年には、熊谷市において、ラグビーワールドカップが開催されます。ごみの落ちている、きれいな街で、世界中から訪れる人々をお迎えするためには、市民の皆さんのご協力が必要であり、これからも、こうした環境美化活動が市全体に広がるように働きかけていきたいと思っております。

中学生の皆さんには、まずは、学校の周辺や自宅前といった身近な場所から、環境美化活動に取り組んでいただきますようお願いいたします。



## 議席番号28 妻沼東中学校 稲見 紗花 議員 ミストやクーラーの設置について(環境部長)

稲見 紗花議員さんの「ミストやクーラーの設置」にお答えします。

冷却ミストは、熊谷駅正面口、南口、東口の3箇所を設置し、暑い時期に熊谷駅を利用する方や熊谷市に訪れた方に、快適な涼しさを提供しています。マスコミの注目度が高い冷却ミストは、熊谷市の暑さ対策を、全国に情報発信する象徴として効果を発揮しているところではありますが、他の公共施設に設置する計画はありません。

クーラーについても、平成24、25年度に全ての小・中学校の普通教室に設置したほか、ほとんどの市有施設に設置済みですので新たな設置予定はありません。

現在、熊谷市では、夏の暑い期間、電力需要を減らすため、クールスポットに集まる「クールシェア推進事業」や、クーラーを設置した市有施設で、屋外等で気分が悪くなった方の、一時的な休息場所を提供する「まちなかオアシス事業」を実施するなど、市民の皆さんが熱中症にならないよう、様々な取組をしています。

これからも市民の皆さんを夏の暑さから守るため、各種の暑さ対策を充実していきたいと考えています。

## 質問番号9 産業振興部関係

### 議席番号2 荒川中学校 <sup>おおしま ゆめ</sup> 大島 夢芽 議員 うちわ祭の山車について

2019年にラグビーワールドカップが行われますが、開催に向けて、熊谷市をアピールしたいと考えました。そこで、熊谷の夏の風物詩であるうちわ祭をもっと多くの方々に知ってもらいたいと思っています。

熊谷市の子どもたちからワールドカップをテーマとしてアイデアを募り、うちわ祭で使われている山車に装飾をして、新たに祭りのシンボルを作るというのはいかがでしょうか？

### 議席番号22 奈良中学校 <sup>いいだ かほ</sup> 飯田 果歩 議員 熊谷市の新しい特産物について

熊谷のかき氷「雪くま」は、夏の時期になるとついつい食べたくなる熊谷の特産物です。最近をよく見かけるようになってきました。

そのように、熊谷市で特産物や名物になるものは、今現在もたくさんあると思うのですが、何か新しいものは、より町おこしのきっかけになると思います。熊谷市をより活気づけるために、今後新たに広めていきたい特産物や名物、または新しく作ってほしいもの何かありますか。

### 議席番号31 江南中学校 <sup>みかわ そうた</sup> 三川 蒼太 議員 くま辛、雪くまキャンペーンについて

熊谷市は高知県四万十市に最高気温は抜かれてしまいましたが、暑さを利用したキャンペーンをたくさん行っています。中でも食べ物に関してのくま辛や雪くまというキャンペーンが有名です。私はくま辛や雪くまのキャンペーンについては知っているのですが、それらをまだ食べたことがありません。キャンペーンを行っているお店の場所や営業時間が掲載されているマップは手に取ったことがあります。しかし、お店の場所が点在していて、食べようと思ってもなかなか行くことができません。私を含め、駅を利用する人は市内外に数多くいるので、駅を利用したキャンペーンにすることで、たくさんの人にくま辛や雪くまの味を知っていただけるのではないのでしょうか。

そこで、より身近なキャンペーンとして駅ビル等の空いている場所を使用して、それらのお店を週替わりや日替わりで出店することはできないのでしょうか。

### 答弁 (市長)

大島 夢芽議員さん、飯田 果歩議員さん、三川 蒼太議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

最初に大島さんの「うちわ祭の山車について」にお答えします。

これからラグビーワールドカップ2019に向けて盛り上げていくうえで、うちわ祭と連携していくことは相乗効果もあり、熊谷流を全世界にアピールできる絶好のチャンスと考えています。大島さんご提案のように、アピールの方法をみんなで考えていきたいと

思います。ラグビーの試合前に行われる、ハカなどの儀式は大きく会場を盛り上げます。たとえば、全世界から熊谷会場にお越しの皆さんを、うちわ祭のお囃子でお迎えできれば、熊谷をアピールする最高のおもてなしになるかもしれません。まさに大島さんの名前のように夢が広がります。

次に、飯田さんの「熊谷市の新しい特産品について」にお答えします。

熊谷を全国発信しようという、「あついで！熊谷」の名物としてかき氷「雪くま」が誕生した時、お店の皆さんとともに私自身がトップセールスをしたのを思い出します。今や、雪くまを知っている市民の割合は9割を超えました。今度は、ラグビーワールドカップの開催という大きな機会を得ましたので、新名物を全国に、そして世界に発信したいという想いを強くしております。飯田(いいだ)さんをはじめ皆さんと、スクラムを組んで取り組みたいと考えています。

次に三川さんの「くま辛、雪くまキャンペーンについて」にお答えします。

地域の物産を広めていくには、まずは知っていただくことが一番であり、1日(いちにち)約7万人の乗降客がある熊谷駅の活用は大きな効果が期待できます。デパート業界の戦略で、人の集まる地下から上の売場へお客さんを誘導する噴水効果を、まちづくりに応用すると、まず駅、次に街ということになるかと思えます。すなわち、駅で情報を得てお店になじんでいただき、街の雰囲気味わっていただくようになれば熊谷市にも新たな賑わいが生まれてきます。

来年は、雪くまが誕生10周年を、くま辛は5周年を迎えます。より多くの人に御愛顧いただけるよう、三川さんの提案のように駅でのキャンペーンをはじめ、より効果的な方法を見つけていきたいと考えています。

## 議席番号2 荒川中学校 大島 夢芽 議員

### うちわ祭の山車について(産業振興部長)

大島 夢芽議員さんの「うちわ祭の山車について」にお答えします。

熊谷うちわ祭は、関東一の祇園と称され260年もの伝統を有する本市の一大イベントです。3日間で75万人ものお客さんを魅了するうちわ祭において、ラグビーワールドカップをテーマとしたシンボルを作る・・・大変素晴らしく、楽しいアイデアだと思います。

一方「不易流行」や「温故知新」という言葉がありますが、伝統を大切にしながら新たなことにも挑戦し、本質を求めていくということが、うちわ祭とワールドカップの関係であろうと思っています。うちわ祭の山車・屋台には、各町区の方々の変わらない・変えてはならない、目には見えない想い、伝統、歴史が沢山詰まっています。そうしたことから、山車、屋台の装飾は難しいと思いますが、市長がお答えしたように、お囃子でおもてなしするなどのアピール方法もありますので、大島さんには今の発想を大切にしながら私たちといっしょにアイデアを練っていただきたいと願っています。

## 議席番号22 奈良中学校 飯田 果歩 議員

### 熊谷市の新しい特産物について(産業振興部長)

飯田 果歩議員さんの「熊谷市の新しい特産物について」にお答えします。

今年は新熊谷市が誕生して10周年ですが、かき氷「雪くま」も来年は10歳を迎え、まさに熊谷市とともに歩み、名物と言われるようになりました。また、合併して大きくなった熊谷市は特産物も増え、このなかには名物になりうるポテンシャルを持っているもの

もあります。

現在、熊谷市では物産振興として、本州トップの収穫量を誇る小麦を活用した「熊谷うどん」、HOTな暑さを、HOTな辛さで吹き飛ばす料理の「くま辛」、妻沼地区にしかない甘みと香りが抜群な妻沼茶豆を活用した商品など様々な特産品を応援しています。

これからは五家宝などの伝統的な熊谷名物を大切にしながらラグビーワールドカップに向けて、外国のお客さんにも喜んでいただけるものを地域の皆さんとともに創り上げたいと考えています。特にお土産として持ち帰りできるものは、取引額も大きくなり地域経済の活性化につながるとともに、熊谷発で世界につながる発信力を持つ可能性もあります。将来を担う飯田さんたち皆さんの発想も期待しておりますので、いっしょに考えていきましょう。

### 議席番号31 江南中学校 三川 蒼太 議員

#### くま辛、雪くまキャンペーンについて(産業振興部長)

三川 蒼太議員さんの「くま辛、雪くまキャンペーンについて」にお答えします。

雪くまへの引き合いはとても多く、今年も、大宮高島屋、深谷イトーヨーカ堂に出店しています。まだ熊谷駅での販売はありませんが、駅ビルには1店舗出店しており、さらにくま辛といっしょに交代で出店という提案が実現すれば相乗効果で各店も売り上げが伸びますし、市内外のお客さんに対して強力なアピールになると思います。くま辛も雪くまもネット通販のような取寄せができませんので、熊谷に来なければ食べられないという誘客の魅力を「売り」にしたいと考えています。

また、春にはB級グルメ大会、秋には産業祭もあり多くの店が一堂に会しますので、三川さんも、こういう機会にぜひ味くらべをしてみてください。

## 質問番号10 都市整備部関係

### 議席番号7 熊谷東中学校 吉田 龍二 議員 道路整備について

熊谷の中心部では、車道・自転車道・歩道というように道路が3つに区切られている場所があります。私は、このような道路の整備がもっと進み、そのルールを守る人が増えていけば、自転車と歩行者の事故が減ると思います。

今後、車道・自転車道・歩道というように道路が3つに区切られている場所がより多くの地域に整備される予定はありますか。

### 答弁 (市長)

吉田 龍二議員さんの質問に私から全般的にお答えします。

自転車は、日常生活において、身近で便利な乗り物として、通勤、通学、買い物、レジャーなど、様々な目的で多くの人に利用されています。

また、近年では、環境にやさしい交通手段として注目され、利用者が増加しています。

その一方で、埼玉県内では自転車の関係する重大事故が増加し、自転車の通行空間の整備とあわせ、交通ルール・マナーの普及が大きな課題となっています。

平成24年1月に開催された第6回夢・未来熊谷ジュニア議会においても、「歩行者や自転車にやさしい交通事故が少ない安全なまちをつくること」が決議されています。

質問の道路整備についてですが、熊谷市は、平成20年1月に、国道17号、県道太田・熊谷線、市役所通線などを含む熊谷駅周辺が「自転車通行環境整備モデル地区」の指定を受け、現在、国・県とも連携を図り、熊谷駅周辺の主要な道路において歩行者・自転車が安全・安心に通行できる道路整備を進めています。



これからも、歩行者、自転車、自動車等がともに安全に通行できる交通環境の整備を中心市街地から順次周辺部へと進め、ネットワーク化を図って行きたいと考えています。

### 議席番号7 熊谷東中学校 吉田 龍二 議員 道路整備について(都市整備部長)

吉田 龍二議員さんの「道路整備について」に、お答えします。

熊谷市は、地形的に平坦地で、晴天率も高いことから、自転車利用に適した地域と考えています。また、環境、健康志向の高まりを受け、日常生活の中で自転車利用者が増える一方、自転車の関係した事故が課題となっています。このため、歩行者、自転車、自動車が、それぞれ安全に通行できる道路整備が求められています。

吉田さん質問の、車道・自転車道・歩道に区切られた道路整備の予定ですが、熊谷市は、熊谷駅周辺の国道17号、市役所通線及び北大通線等の自転車道等の設置計画に基づき整備を進めており、中央交番前の県道太田・熊谷線やさいたま博通りの整備は、そのうちのひとつとして行われたものです。

今年度は、北大通線の熊谷女子高校前から市役所前までの整備を予定しています。

そして、これからも、国・県との連携を図りながら、国道17号、市役所通線等の整備を順次進め、歩行者や自転車にやさしい、交通事故が起きにくい安全なまちをつくらせていきたいと考えています。



## 質問番号11 教育委員会関係

### 議席番号17 別府中学校 <sup>ふじた ゆうた</sup> 藤田 裕太 議員 熊谷市の伝統行事のPRについて

熊谷市の夏には、うちわ祭や花火大会のような、多くの人を訪れる行事があります。今年は天候にも恵まれ、多くの人に来てくれたと思います。このような伝統行事は、ただ「伝統として」昔からやっていたから、多くの人に来るお祭りになったのではないような気がしています。

そこで市では、このような伝統行事をこれからどのようにPRしていく予定でしょうか。また、新しくPRしていく予定の行事があったら知りたいと思いました。よろしく願います。

### 議席番号27 妻沼東中学校 <sup>みねざし ゆうご</sup> 峯岸 勇吾 議員 熊谷市の国宝について

現在熊谷市では、「埼玉日光」とも呼ばれる「歓喜院聖天堂」が建造物として県唯一の国宝に指定されてとても有名ですが、埼玉県は他の県と比べて国宝や重要文化財があまり多くないように思えます。そこで、熊谷市では、国宝や重要文化財を増やすため申請しようという取組はありますか。

### 議席番号29 妻沼西中学校 <sup>おぎの けんた</sup> 荻野 健太 議員 学校の修繕について

私たちの妻沼西中学校は創立52周年を迎えました。校舎の中は毎日の清掃によりきれいに保たれていますが、教室の床や電気、トイレなどは老朽化が進み、様々なところで修繕が必要となっています。毎年行われる生徒総会でも修繕を要望する声が出されます。夏休みに行われた、ジュニア議会のワークショップで市の財政について説明があり、何でもすぐに直したり、作ったりするのは難しいことや、順番に修繕していることもよく分かりました。

しかし、優先順位があることも分かるのですが、例えば本校ではトイレの水の流れが悪かったり、強い雨が降ると渡り廊下が水浸しになるなどの、不具合があります。過ごしやすい学校になるように、各学校の抱えている修繕箇所を優先して修繕していただくことはできないでしょうか。

答弁

(市長)

藤田 裕太議員さん、峯岸 勇吾議員さん、荻野 健太議員さんの質問に、私から一般的にお答えします。

最初に、藤田さんの「伝統行事のPRについて」ですが、本市を代表する「熊谷うち

わ祭」では、市内外から多くのお客様に来ていただけるよう、首都圏や高崎線の沿線駅に観光ポスターを貼り出したり、今年初めての試みとして、「うちわ祭大学」という、祭りの歴史を再認識する講義を開催しました。市では、市報、ホームページ及び観光情報誌などを活用して、広く情報発信したところです。引き続き、こうした市内各地で行われる伝統行事を広くPRするとともに、2019年のラグビーワールドカップ開催に向けて、外国からのお客様も視野に入れながら、新たな観光客の誘致に取り組んでいきたいと考えています。

次に峯岸さんの「熊谷市の国宝について」ですが、熊谷市には、平成24年7月に国宝に指定された妻沼聖天山の本殿「歓喜院聖天堂」を始め、平成25年6月に重要文化財に指定された中条にある常光院の「絹本着色阿弥陀聖衆来迎図(けんぼんちやくしよくあみだしゅうじゅうらいごうず)」など、国の重要文化財が複数あります。これらの文化財は、地域の皆さんが大切に守り伝えてきたことで、文化財としての価値が高まり、国の指定につながったものと考えます。峯岸さんも、こうした地域の宝、今ある文化財を大切に守り、次の世代へつなげてほしいと思います。

次に荻野さんの「学校の修繕について」ですが、まず、生徒総会などで修繕を要望する声が出るというのは、自分たちの学習環境をより良くしたいとの表れであり、とても積極的でよいことだと思います。学校施設の修繕については、皆さんの安全を第一に耐震化を優先しています。既に校舎については、すべての小・中学校で耐震化を終了し、現在は、耐震性が足りないと診断された体育館の建替え工事を、年3校のペースで進めています。荻野さんが住んでいる妻沼地域では、妻沼小の体育館が工事中ですが、来年度は、秦小、男沼小の体育館の建替え工事を行うことになっています。

こうした改修には、多くの費用が掛かりますが、限られた財源を有効活用しながら、学校からの要望をはじめ、緊急度等を勘案しながら、計画的に進めていきたいと考えています。

## 議席番号17 別府中学校 藤田 裕太 議員 熊谷市の伝統行事のPRについて(教育長)

藤田 裕太議員さんの「熊谷市の伝統行事のPRについて」にお答えします。

市内各地には江戸時代から続くお祭りを始め、数多くの伝統行事があります。

熊谷市では、伝統行事や芸能を解説したパンフレットの刊行や、「熊谷デジタルミュージアム」というインターネット上の博物館で、伝統行事の紹介や動画の公開などにより、PRを行っています。藤田さんも一度ご覧になって下さい。

また、無形民俗文化財や伝統芸能を未来へ伝えることを目的に、今年で8回目となる「地域伝統芸能今昔物語」を毎年開催しています。今年は、11月23日の勤労感謝の日に、「さくらめいと」を会場に開催します。藤田さんの地元の東別府の祭ばやしを始めとして、市内の伝統行事や芸能が一堂に会し、披露されますので、この機会にぜひ会場へ足を運び、熊谷の伝統文化に触れていただきたいと思います。



## 議席番号27 妻沼東中学校 峯岸 勇吾 議員 熊谷市の国宝について(教育長)

峯岸 勇吾議員さんの「熊谷市の国宝について」にお答えします。埼玉県には、国宝・重要文化財が84件指定されており、このうち熊谷市には、国宝1件と国の重要文化財6件が指定されています。国宝や重要文化財の指定については、所有者等からの申請による制度は無く、新たに国の指定となるためには、国にそれぞれの文化財について高く評価してもらうことが必要となります。

現在、熊谷市では市内の文化財について、専門家にご協力いただきながら、調査・研究を進めています。こうした調査結果をふまえながら、国に対して積極的に情報発信していきたいと考えます。

## 議席番号29 妻沼西中学校 荻野 健太 議員 学校の修繕について(教育長)

荻野 健太議員さんの「学校の修繕について」にお答えします。

校舎等の修繕のうち低額で簡易なものについては、各学校に配分された予算の中で修繕をしています。また、中規模修繕や大規模な改修工事は、各学校からの要望に基づき、現場を確認しながら危険性や緊急性の高いものから順に修繕をすることになります。

荻野さんからの要望を受け、妻沼西中学校の状況を確認したところ、トイレについては、緊急性がありますので、学校と相談しながら原因の調査も含め、対応していきたいと思えます。また、渡り廊下については、雨が吹き込んで水浸しになり、皆さんが足を滑らせて怪我をしないよう、対策を取っていきたいと思えます。



## 質問番号12 教育委員会関係

### 議席番号4 富士見中学校 <sup>よしえ みゆう</sup> 吉江 美優衣 議員 下校時の雷雨への対策について

今年は雷雨が多く、下校で苦勞することがありました。下校途中で雷雨に遭遇し、帰ることが大変になってしまった生徒がいました。

私の通学路には大きなビルやお店があります。竜巻や突風、急な雷雨など気象が急変したときには、そのような建物へ避難できると私たちも安心できます。私たちも安全に十分注意して登下校しますが、緊急時に避難できる施設やお店等へ小中学生の避難に協力していただけるような働きかけはできないでしょうか。

### 議席番号18 別府中学校 <sup>もり ゆいり</sup> 森 唯莉 議員

#### 自分の学校にはない、他の中学校の部活動に参加できる制度の創設について

中学生にとって部活動は学業とともに学校生活の中心となる活動です。私もソフトボール部に所属していますが、走ることが得意で市の陸上予選を通過して県大会にも出場することができました。しかし、自分の学校には陸上部がありません。

そこで、陸上のような個人種目でも学校の枠を越えて、他の中学校の部活動に参加することができるようにはならないのでしょうか。専門的な知識を持つ先生の指導とお互いに刺激し合う仲間がいれば、私たちの年代は記録が飛躍的に伸びることもあり、東京オリンピックに出場するような生徒が出るかもしれません。このことに関して市はどのようにお考えですか。お聞かせください。

### 議席番号26 大里中学校 <sup>まつなが たまき</sup> 松永 珠希 議員 職場体験の受け入れ先について

職場体験では働くことの大変さや楽しさ、初対面の方との接し方など学ぶことができ、とても良い機会だと思います。また、受け入れ先を増やしてもらうことで将来就きたい仕事に少しでも近い仕事を選び、職業観を味わうことができるのではないかと思います。

そこで、職場体験の受け入れ先をもっと増やすことはできないでしょうか。

#### 答弁

##### (市長)

吉江 美優衣議員さん、森 唯莉議員さん、松永 珠希議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、吉江さんからの「下校時の雷雨への対策について」ですが、熊谷市でも竜巻や大雪など、これまでに経験したことのない自然災害にみまわれました。こうした突発的に起こる予測しがたい自然災害には、瞬時の判断がとても大事です。そこで、みなさんが、災害時や防犯上身の危険を感じたときに緊急避難できるように、子ども110番の家を、市内の住宅地や商店街を中心に設置しています。平成27年8月末現在では、市内全域に2015件ありますので、安心して利用してください。これからも、地域の

御協力をいただきながら、増やしていければと考えていますので、みなさん自身も、いざというときに、迅速な行動と的確な判断がとれるような力を身に付けてほしいと思います。

次に、森さんの「他の中学校の部活動に参加できる制度について」ですが、まず、森さん、県大会出場おめでとうございます。ソフトボール部に所属しながら、陸上の県大会への出場を決めたということは、大変すばらしいことです。自分の学校の部活動に所属しながら、他の学校の部活動に参加することは、時間等の制約から、合同練習などを制度として位置づけることは難しいと思います。しかしながら、熊谷市では、自分の部活動と両立させて、全国大会で優勝する等活躍している選手もいますので、これからも自分の可能性に挑戦し頑張ってください。

次に、松永さんの「職場体験の受け入れ先について」ですが、職場体験は、働くことの意義や喜び等について学ぶとともに、地域の方と触れ合う良い機会であり、時には、世の中の実態や厳しさを垣間見ることもあると思います。職場体験の重要性からも、受け入れ先を増やすことは、大切であるととらえていますので、様々な職場体験ができるよう、これからも、教育委員会や学校を通して、地域の事業所に働きかけていきたいと考えています。みなさんが夢や希望のある、充実した人生を切り拓いていけるよう応援しています。

#### 議席番号4 富士見中学校 吉江 美優衣 議員 下校時の雷雨への対策について(教育長)

吉江 美優衣議員さんの「下校時の雷雨への対策について」お答えします。

竜巻や突風、急な雷雨など、突発的な天候の変化が、いつ、どこで、起きてもあわてずに対応できるよう、日頃から、子ども110番の家やビル、お店等避難できる場所をチェックし、「自分の身は、自分で守る。」という大原則のもと、一人一人が危機意識を高めておくことが大切です。

昨年度、市内の小・中学校では、児童会や生徒会が中心となり、防犯・防災・交通安全の安全マップを作成したと思います。

今年度は、ぜひそれを見直し、より多くの地域の施設やお店等に協力をお願いをしてもらえるよう、校長先生に相談してみてください。

#### 議席番号18 別府中学校 森 唯莉 議員 自分の学校にはない、他の中学校の部活動に参加できる制度の創設について(教育長)

森 唯莉議員さんの「自分の学校にはない、他の中学校の部活動に参加できる制度の創設」についてお答えします。

森さんは、ソフトボール部に所属するとともに、学校の代表として陸上競技大会に出場し、県大会出場を果たしました。これは、日頃の努力の成果であり、家の人はもちろん、先生や仲間、地域の方々も大変喜ばれたことと思います。

埼玉県中学校体育連盟の規定では、球技等の団体種目においては、学校同士の、合同チームでの参加が認められていますが、陸上競技のような個人種目については、認められていません。ですから、現状では、新たな制度をつくることは難しいと思いますので、引き続き、校長



先生や体育の先生等に応援をしてもらいながら、記録の向上を目指して行ってください。実際に、平成25年度には、荒川中学校の竹内萌さんが、ソフトボール部に所属しながら、陸上の走り高跳びで、全国優勝したという例もあります。森さんもぜひ、これからも頑張ってください。

## 議席番号26 大里中学校 松永 珠希 議員

### 職場体験の受け入れ先について(教育長)

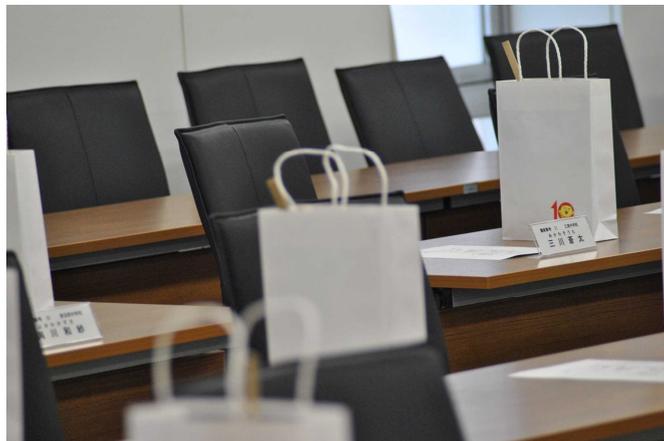
松永 珠希議員さんの「職場体験の受け入れ先について」お答えします。

中学生職場体験の受け入れについては、現在、45種類を超える職業から、延べ450を超える事業所が協力してくださっています。

職場体験の協力を、市報の4月号で呼びかけたり、商工会議所や商工会に、直接、協力をお願いに出向いたりしています。

職場体験は、松永さんのおっしゃるとおり、将来の生き方に大きく関わる貴重な体験ですので、これからも、受け入れ先が増やせるよう、また、職場体験の具体的な方法についても、引き続き検討してまいります。

以上でございます。



## 5、ジュニア議員の感想

### ～ジュニア議会を終えて～

#### 1. ワークショップについて

- ・ 事前学習での小・中学校の施設・予算についてや、ラグビー等の説明で熊谷市のことについて沢山知ることが出来ました。
- ・ グループ討論では、他校の方と話して意見の交換をするとともに、コミュニケーションを図ることが出来ました。
- ・ ワークショップを2回行ったので、議会前に名前を知ることによって仲良くなれて、議会の時の緊張は少し、なくなりました。
- ・ 2回のワークショップの中で行われたグループ討論は、質問の追及などをして、グループで話し合うことで、グループの仲が深まり、力を合わせて意見を出し合って1つの答えにたどりつくことができました。
- ・ ワークショップがあったので、議会前にジュニア議員同士友達になったり、少し緊張をほぐせるようになってよかったです。
- ・ 質問の内容は、ワークショップで学んだことを生かして出来たので、ワークショップがあつてよかったです。
- ・ 熊谷市の説明がわかりやすく、知らないことを沢山知ることが出来ました。特に私はラグビー部なので、ラグビーのことについて学んだときは、すごく楽しかったです。いただいた資料を大切にしていきたいです。
- ・ とても分かりやすく良かったです。特に、グループごとの活動はとてもいい取り組みだと思いました。スクリーンでの説明や、資料での説明はとても分かりやすかったです。
- ・ ワークショップで熊谷市の取り組みなどを知ることができ、とても良い経験になりました。

#### 2. ジュニア議会を体験して

- ・ 同じような学校の代表者、リーダーが集まり、刺激を受けたり、交流が出来て、とてもよかったです。
- ・ 熊谷市について改めて考えるきっかけとなりました。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。
- ・ 将来大きくなって、またあの場所に行きたいと思いました。
- ・ 議事堂で質問するという、とても貴重な体験をすることが出来、とても感動しています。
- ・ これからの未来の社会を背負う立場になるということを実感しました。

- ・ 時間がなく、再質問することができないので、時間を増やしてより活性化するような議事になれば良いと思います。
- ・ 初めて議場を見ることができ、とても綺麗で緊迫感がありました。すぐに答えを出してくれたときは、とても嬉しく、今後の学校がどのように変化していくかがわかりよかったです。
- ・ 普段の議会が、どのように進行されているかがわかり、とても勉強になりました。
- ・ 議会は大変でしたが、みなさんの意見を聞くのはとてもためになり、私達の住む熊谷という市を見つめ直すきっかけになりました。
- ・ これからは熊谷のためにもっと頑張りたいと思います。
- ・ 熊谷市内の中学校で学校や地域がよりよくなる活動や行事を知ることができました。自分の学校でも出来ること等があり、やってみたいと思うことも沢山ありました。
- ・ 市の状況等をとてもよく説明してくださったので、知ることが出来よかったです。
- ・ 他の中学校の生徒と意見交換をしたり、本番では実際の議会により近いかたちで、今回参加させてもらい、とてもよい経験となりました。
- ・ 緊張していましたがなんとか質問することができてよかったです。
- ・ まったく知らない人や市長の前で話すことにとても緊張したけれど、とても貴重ないい経験ができました。
- ・ ジュニア議員一人ひとりが色々な考えを持っていたので、私ももっと多くの考えを持てる人になりたいなと感じました。
- ・ 一人ずつまずは市長さんから、次に詳しい理由等をそれぞれの方から答えていただき、よく分かることができました。また難しい言葉を少しずつしてくださったりと分かりやすかったです。
- ・ 普段感じている事が、解決できたので嬉しかったです。他の人の質問も興味深いものばかりで楽しかったです。
- ・ 私たちがより良い環境で暮らしていくために、市政に関心を持つことが大切だと思いました。
- ・ 将来、選挙にはしっかり参加しなければならないと思いました。

## 6、参考資料(ジュニア職員座席表)

### 第10回夢・未来熊谷ジュニア議会 座席表

広報広聴課長	広報広聴課			議 長		議 事 務 局 長		議 事 務 局				
産業振興部長	環境部長	福祉部長	危機管理監	議 長		議 事 務 局 長		監査委員事務局長	農業委員会事務局長			
市民部長	総務部長	総合政策部長	市長公室長	議 長				契約室長	会計管理者			
	副市長	市	長	演 壇				都市整備部長	建設部長			
8 ことろ すす 小室 すす (熊谷東中)	7 よしだ りゅうじ 吉田 龍二 (熊谷東中)	6 ほん あかり 原 あかり (大原中)	5 こばやし ゆうた 小林 優太 (大原中)	16 たかはし さつき 高橋 咲月 (吉岡中)	15 いいの やまと 飯野 大和 (吉岡中)	14 いげた あみ 井桁 歩実 (中条中)	13 しらね たくや 白根 拓弥 (中条中)	12 あきやま なつこ 秋山 夏子 (大麻生中)	11 ほらだ てつた 原田 哲汰 (大麻生中)	10 みうら ちさと 三浦 千聖 (玉井中)	9 いまい あゆむ 今井 歩 (玉井中)	1  あさい けいざぶろう 浅井 圭三郎 (荒川中)
20 はまぐち ゆき 濱口 由貴 (三尻中)	19 かつやま たかゆき 勝山 尚幸 (三尻中)	18 もり ゆいり 森 唯莉 (別府中)	17 ふじた ゆうた 藤田 裕太 (別府中)	28 いなみ さやか 稲見 紗花 (妻沼東中)	27 みねざし ゆうご 峯岸 勇吾 (妻沼東中)	26 まつなが たまき 松永 珠希 (大里中)	25 ながしま かずき 長嶋 一輝 (大里中)	24 あきやま しおり 秋山 汐里 (大幡中)	23 さとう ゆうだい 佐藤 佑大 (大幡中)	22 いいで かほ 飯田 果歩 (奈良中)	21 しのざわ ひかる 篠澤 輝 (奈良中)	
32 うらべ みゆ 浦部 未夢 (江南中)	31 みかわ そうた 三川 蒼太 (江南中)	30 よかわ かずさ 與川 和紗 (妻沼西中)	29 おぎの けんた 荻野 健太 (妻沼西中)									

ミキサ一室

傍 聴 席

席

## 7、参考資料(答弁のための出席者)

市長	富岡 清
副市長	嶋野 正史
市長公室長	安西 俊之
危機管理監	吉野 一明
総合政策部長	小泉 照雄
総務部長	関口 和佳
市民部長	飯塚 靖
福祉部長	小林 卓敏
環境部長	塚越 晴夫
産業振興部長	建川 崇嗣
都市整備部長	長谷川 泉
建設部長	田所 隆雄
消防長	木村 和行
水道部長	鯨井 勝
契約室長	野中 詔子
会計管理者	内田 百合子
教育長	野原 晃
教育次長	米澤 ひろみ
選挙管理委員会事務局長	黒澤 幸十郎
監査委員事務局長	斉木 千春
農業委員会事務局長	小暮 昭雄
議会事務局長	小林 常男





市の花さくら、市の木けやき、市の鳥ひばり、市の魚ムサシトミヨ

第10回 夢・未来熊谷ジュニア議会 会議録

発行 熊谷市総合政策部広報広聴課

〒360-8601 熊谷市宮町2-47-1

TEL: 048-524-1111(代表)